

令和5年度 児童館事業年間活動報告書

<様式10-1>

久世西児童館

	活動名	実施回数	参加人数										内容*	成果と課題*	
			小1～3年					小4～6年							計
			乳幼児	自由米館	学童クラブ	自由米館	学童クラブ	中学生	大人	中学生	大学生	大人			
子ども基本も本育生活機能	(3)自主企画	13	0	19	151	36	65	1	50	0	0	1	323	子どもが主体となり、「子どもマーケット」「クリスマスパーティー」「児童館をきれいに飾ろう」「秋のどんぐりひろい」「みんなで児童館をきれいにしよう」おもちゃの確認をしよう「みんなで児童館をきれいにしよう」児童館のおもちゃを買いに行こう。を目的に企画・運営をする。	子ども達が会議を通してどのようなことをしたいかを決め、友達と協力して当日のように進めるか等も考え実践できた。
	(3)選書会	2	45	5	180	7	25	0	42	0	0	0	304	子ども達の興味・関心のある本を準備し、その中から読みたい本を選ぶ。	自分たちで選んだ本を認めるのを楽しみにしている子が多い。読書生活の定着につながっている。
	(3)伝承遊び	12	1	3	343	3	17	0	4	0	0	0	371	「お手玉」「だるまさんが転んだ」「あやとり」「けん玉」「コマ回し」「トントン相撲」「ぶんぶんゴマ」「お正月遊び福笑い」「早口言葉」「鬼ごっこ」「キャップつみ」「カウンター」	児童館のあそびとして欠かせないのが伝承遊び。昔ながらの遊びにわらべうたを歌いながら取り組みを行った。学年を超えての関係性も密になるチャンスでもあるため参加に呼びかけ参加してもらえよう来年度も取り組みたい。
	(3)チャレンジ	12	0	6	365	9	24	0	0	0	0	0	404	「マンカラ」「じゃんけん」「おりがみめんこ」「ソリティア」「オセロ」「マンカラ大会」「将棋」「ネイチャークラフト」「たこづくり」「大縄とび・縄跳び」「豆つまみ」「キャップつみ」「カウンター」	高学年がなかなか児童館に足を運ぶ機会がなかったが、次年度からは子どもたちにリクエストを聞きながら取り組みをしていきたい。
	(3)避難訓練	14	0	4	660	4	68	0	8	0	1	1	746	月ごとに地震・火災・水害・防犯について避難方法を確認、避難訓練をする。全職員練習用消火器にて練習。共有し火災時における初期消火の訓練をする。3施設合同 避難訓練(火災)・消火器訓練を行う。	年間を通じて避難訓練を実施することで、避難経路を覚えたり、いざという時に、慌てず行動できるようになる。避難する場合のもしもを想定し、考えてもらい職員、子どもたちの集団行動が少しでも早くできるように声掛けを行っていく。
	(3)安全の日	12	0	5	780	4	91	0	6	0	0	1	887	交通ルールを守ろう(学校～児童館、児童館・分室～自宅)、感染症対策、大型トランプを使い、交通ルールのお話、自転車の正しい乗り方について注意することをクイズで問いかける。ヘルメットの正しいかぶり方など。防犯・不審者対応について。水害について避難場所、避難方法を知る。登下校についての再確認を行う。ロールプレイやDVD、いかのおすし、子ども100の家など南警察署・久世交番の警察官の方に来ていただき地域の防犯について学ぶ。1水害時の避難、感染症についてや不審者対応についての避難方法などについて再確認する。	春は交通安全に関する話で、夏は防犯・不審者、秋は、南警察署の方、久世交番の警察官の方に、お話しをして頂き、子ども達にとって身近な方に来て頂くことで、意識を高めることができた。
	(3)しつもん読書会	2	0	0	19	2	2	0	0	0	0	1	24	地域の方より「しつもん読書会」を教えていただき、職員が体験したところ、一人ひとり感じ方が違いくらい意見も尊重しよう！という趣旨だったので夏休みに講師をとお招きし、2回実施していただいた。	参加した子どもたちは、大変好評だった。
	(3)他館交流(オニム交流)	1	0	8	3	7	0	1	0	0	0	0	19	今年度は、祥豊児童館で、夏に1回、交流した。	他館の子ども達と直接話しをしたり、オニム等を通じて対戦することで、刺激を受けて、クラブ活動等のモチベーションが上がる。
	(3)学習支援	56	0	1	244	9	44	4	6	0	37	0	345	大学生に来ていただき、宿題、学習の支援をしてもらう。	子どもたちに寄り添って宿題などを教えていただけたので今後も継続していく。
	(4)オニムクラブ	40	0	43	131	39	7	0	0	0	1	0	221	オニムのルールを学びながら、技術を身に付けていく。	年間通じて、積極的に練習に取り組んでくれた。オニム大会に向けて、頑張って取り組むことが出来た。
	(4)けん玉クラブ	24	0	0	109	0	9	0	0	0	0	0	118	けん玉の基本から学び、技に挑戦し、クリスマス会などで発表する。けん玉を通して多世代間交流にもつながった。	けん玉に興味関心を持ち、技への挑戦、根気を持って取り組むことができていた。児童館のクリスマス会の発表に向けての練習の成果を発揮できた。
	(4)科学クラブ	15	1	53	68	4	5	0	1	0	0	0	132	月ごとに「身の回りの不思議をさがす」、「漏れない袋」6月「水と油」、「音について」、「スライム」、「電気について学ぼう」、「いろんなロケットを飛ばそう」、「バスボムを作ろう」、「静電気で遊ぼう」、「ペットボトル空気砲の的当てを作って遊ぼう」、「光の箱をつくろう」、「ペーパークモトグラフィ」	どの学年も興味関心があり、月1回の科学クラブを楽しみにしている子が多い。楽しく実験ができるよう来年度も興味を持って内容を企画する。
	(4)将棋クラブ	8	0	0	17	2	0	0	4	0	0	0	23	大きな将棋盤や駒、資料を通して、将棋の基本を体験・学習し、将棋の良さやゲームの楽しさを知る。挨拶や座り方等の礼儀作法も学ぶ。	積極的に参加している子がほとんどで、将棋に真剣に取り組む姿が見られた。
	(4)卓球クラブ	20	0	42	44	49	4	0	15	0	0	1	155	卓球に親しみ、ルールを学び楽しみながら卓球の技術を身につける。	安定してボールが打てるようになり、5回以上続けて打ち合うことが出来てきた。
	(5)オニム大会	1	0	5	11	4	0	0	0	0	0	0	20	2ブロックのオニム大会参加館が集い、オニムの試合を行う。	他館との対戦に向けて、練習を頑張った。試合では、その成果を存分に発揮した。
	(5)親子みんなであそぼう	1	37	0	0	0	0	0	0	0	0	37	乳幼児親子を対象に地域の子育て支援者となつていきかけ作りや仲間作りを支援する。	たくさんの親子に参加して頂き、工作や触れ合い遊びを楽しんで頂いた。	
	(5)ブロックやんちゃフェスタ	1	0	0	10	0	0	0	0	0	0	0	10	下・南区の児童館・学童保育所が梅小路公園七条広場に集まり、工作や遊びのコーナーを楽しむ。	梅小路公園七条広場で1日、様々な遊びに取り組むことが出来た。
	(7)中学生自主企画	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	中学生が「卓球」「オニム」を企画・運営し、中学生を中心に呼びかける。	子ども達が会議を通してどのようなことをしたいかを決め、準備や、呼びかけをするなど、今後も充実させていきたい。
	(7)中学生卓球を楽しむ会	0	0	0	0	0	0	11	0	0	0	0	11	月1回の第3土曜日、午後5時から6時を利用して卓球を楽しむことを通じて居場所作りを行う。	今年度は児童館を利用してくれた中学生から声かけすることから始めた。月2月に参加があった。来年度は、ポスター等で中学校内や児童館で呼びかけていく。
(9)エコの日	12	0	5	208	0	22	0	0	0	0	0	235	エコに関する話を聞き、自分たちの生活を振り返る。公園でのゴミ拾い、分別、エコへの意識を高める。	毎月の活動に積極的に取り組んでいる。エコの話を聞き、日常の生活で気を付けるべきことを学んでいる。	
推進活動	総合育成ケース検討会	1	0	0	0	0	0	18	0	0	0	18	児童館連盟の取り組みで行政区で1館ずつ大学教授に子どもの行動観察をしていただき、小学校の先生と児童館職員で、検討会を実施する。	小学校の先生と一緒に検討会を実施することで、共通理解をすることができた。	
	地域子育てステーション事業	2	23	0	0	0	0	23	0	0	0	46	久世地域子育て支援施設が一緒に事業をすることで連携を強化する	久世地域の子育て世代の情報を共有し理解を深めることができた。	
	親子で楽しむ集い	1	61	66	10	12	2	1	94	0	0	246	久世地域子育て支援施設が一緒に事業をすることで連携を強化する	久世地域の子育て世代の情報を共有し理解を深めることができた。	
	出前児童館	4	157	19	0	9	0	3	204	0	0	392	大型ショッピングモールや、駅前で児童館の取り組みを展開することで、児童館のPRをする	児童館を利用したことがない方におたより配布や、取り組みを知ってもらったことができた。	
合計	8	241	85	10	21	2	4	339	0	0	0	702			
子供育成機能 合計	254	325	284	3353	200	385	21	475	0	39	42	5,124			

令和5年度 児童館事業年間活動報告書

久世西児童館

活動名	実施回数	参加人数										内容	成果と課題	
		乳幼児	小1～3年		小4～6年		中学生	大人	ボランティア					合計
			自由来館	子育てクラブ	自由来館	子育てクラブ			中学生	大学生	大人			
(2)にこにこクラス	25	414	0	0	0	0	0	411	0	0	0	825	年齢に適した設定遊び(音楽遊び、運動遊び、造形遊び等)セーフティ、手遊び、体操、歌、読み聞かせ・季節行事(遠足、七夕、クリスマス会等)、誕生日会等	乳幼児クラブ運営を5月から開始し、戸惑いながらもできた。保護者のニーズを大切にし、内容の広がり・充実を目指したい。
(2)たけのこクラス	27	288	9	0	0	0	0	287	0	0	0	584		
(2)びよびよクラス	23	270	0	0	0	0	0	238	0	0	0	508		
(2)すくすく広場	103	685	2	5	0	13	0	630	0	0	0	1335	自由に遊び、子育てについて自由に交流する。子育て家庭を支援する。	定期的な利用やお友達と待ち合わせて遊ぶなど上手く活用されている。
(10)公園遊び隊	2	47	0	0	0	0	0	42	0	0	0	89	地域の方や他機関と連携して地域の子育て支援を行う。	久世地域子育て支援ボランティア(子育てネットワーク)の方と参加者と会話を通じて交流して頂けた。
合同事業	4	105	0	0	0	0	0	125	0	0	0	230	久世保育所・久世児童館・久世生き生き福祉センターと合同で年4回乳幼児親子を対象に事業を行っている	児童館の職員だけではなく、地域の保育士や、ボランティアさんと連携して事業を実施することが出来た。
歯科教室	1	10	0	0	0	0	0	15	0	0	0	25	こられた乳幼児親子さんと手遊びをしてから歯磨きについてのお話などをしていただいた。	歯磨き方法などについていろいろ知りたい方が申し込みをしていただき良かった。
(4)母親クラブ「ママヨガ」	10	8	0	0	0	0	0	56	0	0	0	64	家事・育児を頑張っているママたちのためのクラブです！ヨガインストラクターの小野敏子先生にご指導いただいている	お子さん連れでも参加できることをもっと呼びかけていき、ママのリフレッシュにつなげたい
(4)イオンに児童館がやって来た	2	110	0	0	0	0	0	131	0	0	0	241	京都桂川イオン月の広場に於て乳幼児親子向けのイベントを行った。	児童館の職員は、はぐみ職員と連携して事業を実施することが出来た。
(5)子育て支援講座	8	30	0	0	0	0	0	31	0	0	0	61	久世地域にお住いの方で子育て支援活動をされているママにお声かけをし子育て支援講座を実施する。「子どもがいてもお家がすっきりするおかたづけ」・パレト「おかあさん身体を動かそう」	児童館利用されているママの年齢層やお子さんの月齢を事前打ち合わせでお伝えしていたことで企画内容が参加者にとって好評だった。
清和園コラボ移動児童館	2	47	19	0	9	0	3	83	0	0	0	161	法人の久世包括センターとコラボ企画を実施することで、多世代に児童館のPRをする	児童館を利用していない方々へPRすることができた。
合計	197	1,937	11	5	0	13	0	1,935	0	0	0	3,901		
(3)子育て家庭相談・援助活動	子どもの年齢	件数	受理及び相談経路		件数	相談内容		件数	つないだ機関等		件数			
	乳児	34	児童館にて直接受理		55	健全育成問題		3	児童相談所		2			
	幼児	13	児童相談所		3	家庭養育問題		2	保健所					
	小1～3年(自由来館)	4	保健所			成長・発達問題		50	子ども支援センター					
	小1～3年(学童)	14	子ども支援センター			教育問題			幼稚園・保育園		1			
	小4～6年(自由来館)	0	主任児童委員			非行・問題行動			小学校 久世西小学校		5			
	小4～6年(学童)	5	その他			その他			中学校					
中学生		{ 小学校、保育園 }		3	{ }			総合支援学校						
高校生		{ 連盟統合育成担当者 }		5	{ }			その他 { 久世保育所 }						
件数計	70	件数計		66	件数計		55	件数計		8				
(4)子育てグループを育成・支援する活動	グループ名	構成人数	活動内容		育成・支援内容		成果と課題							
			月1回グループで、子育てなどの情報交換を行う。		場の提供		今年度は、すくすく広場や乳幼児親子クラブに参加されている保護者の方へ呼びかけもなどしていく余裕がなかった。来年度は、積極的にまずは児童館へ足を運んで下さる方へ呼びかけて月に1回の開催でお願いしていけるよう努力する。							
(5)子育てと健全育成に関する啓発活動	実施回数	活動内容		成果と課題										
	子育て支援講座	2	①地域の保護者でもあり子育てネットワーク所属でも活躍されている小川氏を招いて講座を行ってもらう。 ②地域の保護者でもあり整理収納アドバイザー 吉川氏をお招きしておうちがすっきり！お片付けの講座を行ってもらう。		今年度は、参加者が確実にきてもらえるとうふで乳幼児親子クラブの設定日に子育て講座を取り組んだ。来年度は広報にも力を入れて乳幼児親子さんが一人でも多く参加してもらえるよう呼びかけていきたい。									
	ほっこり子育て広場	0												
	ほかほか	10	久世保育所の地域拠点担当の先生と共催で実施。おもちゃを出して遊びながら、母親の話しを聞き、育児相談に応じたり、他の関係機関を紹介したりした。		久世保育所の地域拠点の保育士と、遊びながら、育児の悩みを聞いたりして母親の育児不安の解消に努めた。言語聴覚士岡崎氏を招いたり、はぐみ業よりきていただき、子育て相談の場をつくった。来年度も願います。									

※注 基本活動は、指針に基づき、(1)乳幼児とその保護者を対象とする活動 [①乳幼児クラブ活動 ②乳幼児の広場活動] (2)家族参加を促す活動に分類して記入すること

基 本 活 動	活 動 名	実施回数	主 催	参 加 人 数						連 携 団 体	成 果 と 課 題			
				乳幼児	小1～3年		小4～6年		中高生			大人	合 計	
					自由来館	学童クラブ	自由来館	学童クラブ						
(1) 地域住民との交流を促進する活動	下京・南ブロックやんちゃフェスタ コドモール	1	下京区・南区の児童館			10	0	0	0	0	10	イオンモール京都桂川 いきいき活動センター	下京区・南区の児童館と連携し合い、まつりを盛り上げる事ができた。 各団体と連携をして久世地域を盛り上げる事ができた。 各団体と連携をしてイベントを盛り上げ、乳幼児親子のサポートへとつながった。 久世地域の子育て支援施設が連携し事業を実施することで、支援体制が強化される。 人数制限をしながら他館所と連携して実施した。気になる親子の把握等、今後も情報共有していきたい。 南区の子育て世代の支援の取り組みを他団体と連携し情報共有する	
	久世子育て支援部会	5	久世社協・久世南保育園・久世保育所・久世築山保育園・上久世保育園・くげにし保育園・琴音つばき保育園・久世西児童館・久世児童館・大蔵小学校・大蔵小学校PTA・久世西小学校・久世西小学校PTA	0	0	0	0	0	0	0	20			
	移動児童館 (桂川イオン/トート広場)	4	久世児童館、祥栄児童館 久世西児童館、南区役所保健福祉センター 子どもはぐくみ室 久世包括	110	1	0	0	0	0	0	131			241
	親子で楽しむつどい	1	久世社協・久世南保育園・久世保育所・久世築山保育園・上久世保育園・くげにし保育園・琴音つばき保育園・久世西児童館・久世児童館・大蔵小学校・大蔵小学校PTA・久世西小学校・久世西小学校PTA・詩音学童クラブ・久世中学校	61	66	10	12	2	1	94	246			
	合同事業	4	久世児童館 久世保育所 久世西児童館	105	0	0	0	0	0	0	105			230
	親子みんなでつながろう	1	南区社会福祉協議会 南区子ども連絡会	37	0	0	0	0	0	0	37			74
	合 計		-											
(2) ボランティア活動の推進	活 動 内 容			活 動 人 数				成 果 と 課 題						
				中高生	大学生	大人	合計							
	あそびのボランティア…中高生・大学生・一般の方に子どもたちと遊んでもらったり、行事の手伝いに来てもらう。					5	5	社会人や、大学生に児童館で小学生と関わってもらうことで、職員とはちがう大人として、身近に感じる存在となる。						
学習支援				58		58								
合 計				58	5	63								
(3) 地域との連携を促進する活動	連 携 団 体 等	連 携 内 容						成 果 と 課 題						
	久世社会福祉協議会、子育て支援部会(久世南保育園・久世築山保育園・殿城保育園・上久世保育園・久世保育所・久世西保育園・久世児童館・久世西児童館・大蔵小PTA・久世西小PTA詩音学童クラブ・南まち美化事務所)	各団体が集まって会議を開き、地域の親子が楽しめる取組を企画・運営						11/18に「親子で楽しむつどい」、1/22に「防犯研修」を開催できた。						
	久世西小学校、久世保育所、桂川イオン	久世西小学校 『じどうかんだより』『乳幼児親子だより』の配布協力(家庭数) 久世保育所・桂川イオン『じどうかんだより』配架協力						児童館単独でおたよりを掲示・配布するだけでなく、地域の学校や商業施設に協力してもらうことによって、今まで利用がなかった人にも児童館の事を知ってもらえた。また、利用にも繋がり行事の参加人数が増えた。						
久世教育機関協働協議会(大蔵小学校・久世西小学校)	久世の子どものための確かな育ちに向けて各教育機関、施設が集まって会議をもち、意見交流をする。防犯研修も行う。						各教育機関が施設の取組について情報交換し、学校やその他の施設に児童館について理解してもらえた。学校での子どもたちの様子を児童館が理解でき、毎回有意義な協議会になっている。							

地域福祉	基本活動		組織名称		構成団体・個人		会議／取組頻度		議題／取組内容	成果と課題
			久世社協 子育て支援部会 3役		久世社会福祉協議会（植松明彦委員長）・久世児童館（松村都館長）・久世西児童館（山崎育子館長）		3 役会議（開催場所：久世西児童館）		年4回 (5/22・7/10・9/20・2/6)	「親子で楽しむつどい」の開催について
		久世社協 子育て支援部会		久世社協・久世南保育園・久世保育所・久世築山保育園・上久世保育園・くぜにしこども園・琴音つばさ保育園・久世西児童館・久世児童館・大蔵小学校・大蔵小学校PTA・久世西小学校・久世西小学校PTA・詩音学童クラブ・久世中学校・久世ふれあいセンター図書館・南部まち美化事務所		久世社協・子育て支援部会（開催場所：久世西合同福祉センター大会議室）		年2回 (6/7・9/6)	「親子で楽しむつどい」の開催、コーナー企画検討。	11/18に「親子で楽しむつどい」、1/22に「防犯研修」を開催できた。
	(4) 児童館を支える地域組織作り									
社促進機能	推進活動	(5) 地域への施設提供	会場提供・備品貸出等		使用目的		提供先（団体・機関等）		成果と課題	
			卓球ラケット カラーボール カッター・カッター台		老人センターでの取り組み デイサービスでの取り組み		京都市久世西老人福祉センター 久世西デイサービスセンター		総合福祉会館内の施設交流につながる。 各施設で協力して効率的に運用する。	
		(6) 地域調査活動	調査名	調査目的	調査対象	調査主体		調査方法	成果と課題	
	ほかほかひろば (子育て支援拠点事業)	子育て相談、発達相談	0歳～就園までの子どもとその保護者	久世西児童館・久世保育所・はぐくみ室		遊戯室や図書室、育成室で子どもを遊ばせながら悩みをもつ保護者の相談を受ける。	申込開始日に定員に達するほど需要があり、普段過ごしている児童館で悩み相談ができると好評である。連盟の担当者が来られる日は人気があり、十分な相談時間を確保する必要がある。今年度から、はぐくみ室に、講義や個別相談をしていただくことになり、乳幼児親子へのサポート、情報交換等を連携できた。			

(令和5) 年度

児童館事業年間活動報告書

〈様式10-5〉
(久世西) 児童館

発行頻度	広報対象	広報方法	広報内容	成果と課題
毎月1回	地域住民対象 (乳幼児親子・小学生親子・ 中高生)	・小学校にて配布 ・はぐくみにて配布 ・久世保育所にて配布 ・桂川イオンにて配布 ・横田歯科・ドラックユタカ・久世診療 所 ・久世西地域 自治会回覧 ・久世西児童館ホームページに記載	各行事内容や日時について	様々な場所でおたよりを配布 することで、各行事に参加 する人が多い。館外のイベント のチラシを見て児童館のこ とを知る人も多く、来館につな がっている。ホームページで も閲覧できるので、乳幼児の 保護者からは便利だという声 もあった。
毎月1回	乳幼児親子対象	・館内にて配布 ・はぐくみにて配布 ・久世保育所にて配布 ・桂川イオンにて配布 ・横田歯科・ドラックユタカ・久世診療 所 ・久世西児童館ホームページに記載 ・39メール配信	各行事内容や日時について	乳幼児親子を対象とした取組 のみのおたよりとなっている ので乳幼児親子に配布する。 乳幼児クラブの登録時には39 メールを登録を必ずしていた だくようお願いする。
毎月1回	乳幼児親子対象	月1回はぐくみ室から冊子が届 くので館内にて配布	各行事内容や日時について	乳幼児親子を対象とした取組 の一覧になっているので冊子 を持ち帰る保護者が多い。
随時	子どもが就園・就学している 母親対象	館内にて配布	登録申込み書	申込期間前に申込用紙を取り に来てもらうことで、大体の 参加人数を把握できた。申込 開始後、すぐに定員に達する ほど需要がある。
随時	乳幼児親子対象	・館内にて掲示 ・ホームページに記載	各行事内容や日時について	児童館だよりと別にすること で、保護者にとってわかりや すく、参加を促せた。
随時	乳幼児親子対象	・館内にて掲示 ・ホームページに記載	各行事内容や日時について	児童館だよりと別にすること で、保護者にとってわかりや すく、参加を促せた。